

# デジタル絵本8点を公開

札幌市電子図書館 コンテスト入賞作

北海道デジタル絵本コンテストの入賞作品を公開している札幌市電子図書館のホームページ画面



北海道の自然や文化などをテーマにした「第1回北海道デジタル絵本コンテスト」(北海道デジタル出版推進協会主催)の入賞作品が決まり、最優秀賞には紋別市在住のこしのゆきのり(本名・越野由紀則)さん(62)の作品「うみは、しろいな おおきいな」が選ばれた。最優秀賞を含む入賞8作品は、札幌市電子図書館のホームページ(HP)で公開されている。

道内の出版社などでつくると同協会が電子書籍に親しんでもらおうと初めて企画。道内から22点の応募があった。最優秀賞の受賞作はキタキツネがエゾリスとエゾシカ、フクロウとともに、流水の時期にやってくるアザラシに会いに行く物語。作者の越野さんは「地元紋別、オホーツクの自然の素晴らしさを多くの人に知ってもらおうきっかけにな

つてほしい」と話す。8作品は札幌市電子図書館に寄贈され、同図書館HPでログイン不要で閲覧できる。同図書館HPで「北海道デジタル絵本コンテスト」と検索する。(今関茉莉)

他の入賞作品は以下の通り。(敬称略)  
▽優秀賞 「こっちのぼくからそっちのきみへ」(鹿毛トモタロウ)、「不思議なスーパークラス〜猫おじさんと港のクリスマス」(三谷乃亜・ねこのうみちひろ)▽特別賞 「SAPICAといっしょに」(七星ころ)、「リスクンのおつかい〜めいあそび〜」(さなえ)、「だいちのおと」(もりこしあい)、「天國のまど」(くさのあずみ)、「霧のない湖」(川島佐保)

2022年4月8日(金)  
北海道新聞 朝刊